

# 乳がん検診について

取材協力／的野ウイメンズクリニック

日本人女性の乳がんにかかる率は、12人に1人と増加。年間4・5万人にも及び、女性で最も多いがんとなり、40歳以上

CA1、2(遺伝子保有)系のの方は、40歳になる前に検診を受けることも勧められています。

でかかる危険性が高くなっています。ゆえに40歳を過ぎたら自覚症状がない方でも、2年に1回は

自覚症状(乳房のしこり、乳首からの分泌物、乳房の痛み、熱感など)がある場合は、年齢に関係なく早めに医療機関の受診をお勧め

乳がん検診を受けることが勧められています。また、遺伝性乳がん(BR

CA1、2)が疑われる方は、家族に乳がんの発症歴がない、リスクがないから大丈夫ではありません。



院長野的

乳がん検診は主に乳房視触診とマンモグラフィの結果に基づき(超音波を行うこともある)、医師が乳がんの疑いありと判断した場合、乳がん専門医により診断が進められ、上記の検査に加え、乳房のMRIなどの画像検査を行い、診断確定のために細胞診、組織診を行います。検査で異常を指摘されず自覚症状がない方も定期的に自己検診を実施し、医療機関を受診することが推奨されています。

当院でも今年9月よりマンモグラフィ、乳房超音波を含めた乳房検診をスタートする予定です。

■的野ウイメンズクリニック／神奈川区六角橋1の6の14／045・435・1107／水・日祝休診／9時〜12時30分、15時〜18時30分(土曜9時〜13時半)／<http://www.matonowomens.com>